



MATSUSHIMA MOTOR CAFE

2015 October 10-11 開催

特設カフェをとりまくように、各ブランドの多彩なクルマが展示された会場。朝から多くの人で賑わいました。

マツシマホールディングスの取り扱いブランドが一堂に会する「MATSUSHIMA MOTOR CAFE」が、さる 10 月 10 日 (土)・11 日 (日)、京都国際会館イベントホールで開催されました。今年のコンセプトは、モーターショーとカフェの融合。会場には特設カフェが設けられ、コーヒーを飲みに行く感覚でカジュアルに最新モデルの展示を楽しめるイベントとなりました。カフェテラは「森のカフェ」をイメージし、山から切り出した本物の木を持ち込んで、オーダーメイドの家具でレイアウト。緑に癒される空間で、小川珈琲さんのパスタが供する本格的なブレンドコーヒーを味わっていただきました。

会場には 10 ブランドから話題性ある 40 台のモデルが展示されました。Maserati の新型 4 シーターオープン・グランカブリオ スポーツや Audi R8 GT spyder など、ショールームで

は見られないレアなスポーツカーも登場。次世代のプラグインハイブリッドカー、BMW i8 も人気を集めていました。メルセデスベンツではジャンカラ様の広告塔として活躍する G63 AMG 6×6 が迫力ある存在感を放ち、10 日に発表された新型 V クラスの同日お披露目も行われました。華やかなクルマだけではなく、スズキの電動歩行アシストカート「セニアカー」といった福祉車両にも多くの方が注目。多様なライフスタイルに合わせたさまざまなクルマが、訪れる人を魅了していました。

お陰様で、2 日間で 1340 組、のべ約 3000 人の方がご来場。「これまでのモーターショーと違って入りやすかった」「カフェがあるのでゆっくりできた」「ブランドの仕切りを取り払ったクルマの展示が見やすかった」といった声もいただき、多くの方に楽しんでいただきました。



Welcome guests

受付では各支店のショールームアテンダントが笑顔でお出迎え。「お待たせしない素早い対応やスムーズなおオペレーションを心がけました」と SA 主任の久田沙耶佳。



開催の 2 日前から、空間デザイナーがこの日のために作り上げたカフェスペース。当日奈良の山から切り出した選りすぐりの木を植栽。椅子やテーブル、鉢カバーまでイメージに合わせて作り上げ、お客様のくつろぎを演出するカフェ空間が完成しました。

Ready for open



家族で楽しめました!

安田理史さんファミリー

「小さな子どもがいるので、お茶を飲んでゆっくりする場所や、おもちゃのクルマで遊べるスペースがあったのは良かったですね。家族で楽しめました」と、お子様もゴキゲン。愛車は BMW3 シリーズ。



人生を豊かにする 素晴らしいクルマとの出会い

池坊雅史さん

池坊華道会で事務総長を務める池坊雅史さんは、弊社社長の朋友であり、長年お付き合いをいただいているお客様の 1 人です。毎年この機会を楽しみにしている、と今年もお忙しい合間を縫って MOTOR CAFE を訪れてくださいました。「会場に入った瞬間、クルマが出迎えてくれるようなディスプレイがいいね」と、今回のブランドを超えたオープン展示がクルマ好きをワクワクさせると感想を述べてくださいました。「こうして比較検討ができて、選択の自由があるというのがマツシマさんの最大の価値。素晴らしいクルマとの出会いは人生を豊かにしてくれます」と、ご自身も愛車メルセデスベンツ S550 のハンドルを握り、日常から解放される時間が大好きだとおっしゃっていました。



【特集】
クルマ × CAFE

クルマとカフェを融合したら、 モーターショーがもっと楽しくなりました



1 年かけて企画した
お客様との交流イベント

MOTOR CAFE 実行委員長
Kyoto BMW 本社 取締役支店長
久保 智樹



今回の MOTOR CAFE は、「お客様とじっくり話す機会を設けよう」というところから企画がスタートしました。普段ショールームを訪れる時は違う、顧客の方と気軽にコミュニケーションする時間を持ちたかったんです。森のカフェがテーマなので、クルマもカフェの駐車場というイメージでディスプレイ。パネルやプライス表示などもすべて排除し、お客様が回遊しやすいよう通路の幅やレイアウトまで細かく検討しました。お陰様で昨年のモーターショーを大きく上回る来場者にお越しいただき、大変うれしく思っています。実はもう来年の企画が始まっています。1 年かけてスタッフみんなで考え、さらに皆様に楽しんでいただけるイベントを目指しますので、次回もどうぞご期待ください。



Bird friend coffee

バードフレンドリーコーヒー®とは、渡り鳥が休息する、環境に配慮した森で栽培されたコーヒーのこと。収益の一部はスマニアン渡り鳥センターの環境保護や生態保護に使われます。



Coffee and a chat

ショールームとは違う、カジュアルな雰囲気でお客様とスタッフを結ぶのもカフェ効果。ショールームアテンダントが案内役として活躍し、営業スタッフとのスムーズな連携に努めました。



スポーツカーのコクピットを体感

浅井智地さん親子

息子さんと共にマセラティの 4 シーターオープン・グランカブリオや、BMW i8 などのスポーツカーをチェックしていた浅井さん。「実際に乗り込んでコクピットの雰囲気を体感できるのがいいね」とポーズもキマっています。愛車はメルセデスベンツ S クラス。



コーヒーを飲みながら
お友達とワイワイ

坂井昭郎さん・直子さんご夫妻

この日はご家族やご友人とモーターカフェで集合。展示車を観て回った後は、カフェでクルマ好きのお仲間との話も弾みます。「久しぶりに楽しい時間を過ごせました」と、坂井さんご夫妻。愛車はボルシェとメルセデスベンツ C クラス。

INFORMATION

マツシマ HD からのお知らせ

2017 年、マレーシアにアジア最大級の Audi 正規ディーラーショールームをオープン



40 年にわたり、マレーシアに自動車の輸出を行っているマツシマホールディングスでは、2013 年にマレーシアに初の整備工場「TIGER SHOJI SDN.BHD」を設立。マレーシアのクルマ社会に貢献してまいりました。そして 2015 年 9 月 23 日、現地に誕生した Audi マレーシアと姉妹。2017 年には Audi の正規ディーラーをオープンさせる運びとなりました。このショールームは京都国際会館・イベントホールの約 2 倍の床面積を持ち、アジア最大級の規模。マツシマホールディングスによる、日本のノウハウを生かした展開に期待されています。日本企業として、アジアにドイツ車の正規ディーラーを出店するのは初の試みです。今後の挑戦にもご期待ください。

PROFESSIONAL

各現場のプロフェッショナルをご紹介します

Vol.1 | 企画室 土居 咲有理

「マツシマファンを 1 人でも多く」



ショールームアテンダントから本社企画室勤務に。接客を通じ、クルマの背景にあるオーナー様のさまざまな人生を垣間みて、この仕事の素晴らしさを実感したと語る。現在はお客様の認知や理解を深める広報活動やプランニングが主な業務。ショールーム勤務の経験を生かして、マツシマファンを 1 人でも増やしていけるよう、心を掴む企画発案や情報発信に努めている。